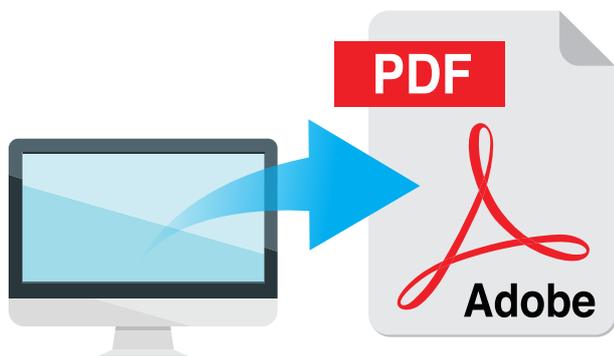


松下印刷ではPDF入稿をおすすめします！



近年、印刷データの受け渡しはPDFへの移行が進んでおります。弊社でもPDFでの入稿をお受けするようになってからは、その手軽さやスピード感から多くのお客さまから入稿いただくようになりました。PDF入稿をしたことがない、設定に自信が無いなど不安に思われるご担当者様もいらっしゃいますが、簡単な設定で入稿用PDFが作成できます。ぜひこの機会にご検討ください。

(PDF書き出しは設定資料編をご確認ください。)

PDF入稿のメリット

●データ収集不要、軽くて便利！

Illustrator、InDesignでのデータ入稿の場合、リンク画像を収集してコンテンツごとにまとめるのに手間がかかります。また、データ容量が大きく、受け渡しにも時間がかかります。入稿データをPDFにする事で、データ容量を大幅に小さくでき、またアップロード時間も短縮できます。

●フォントの有無を確認不要！ アウトラインも不要！

弊社に同じフォントが無くても問題ありません。また、フォントのアウトライン化も必要ないので、アウトラインと未アウトラインのデータを管理する必要もありません。

※埋め込みできないフォントがある場合はアウトラインが必要です。

●ソフトの互換性を 気にしなくてOK！

PDF入稿の場合、OSやソフトの互換性を気にせずに入稿ができるので、対応バージョンを確認する必要がありません。制作環境の違うメンバーとの連携にも便利です。

●トラブルが減る！

リンク画像の添付漏れによる再入稿の時間ロスがありません。また、Illustrator、InDesignの生データと比べ、文字送りの体裁崩れなど、トラブルが激減します。



PDFによくあるミス！

お客さまに不備のご連絡をする内容は下記の様なうっかりミスがほとんどです。

トンボが無い

画像にRGBファイルがある

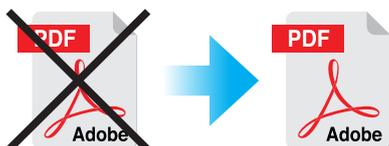
特色を使用している

塗り足しが無い・不足している

ページが足りない

入稿前に必ず作成したPDFをAcrobatで開き、絵柄確認を行ってください。

データに不備がある場合は再入稿！



修正版を再入稿

PDFで入稿いただく場合も、Illustrator、InDesignデータと同様に、弊社スタッフが印刷に適合したデータであるか確認を行っております。不備を発見した場合は、修正箇所を弊社営業担当よりご連絡をいたします。



注意

PDFデータは弊社では編集ができないため、お客さまにて元データより修正をしていただき、PDFを再度ご入稿いただけます。

PDF作成の注意事項

●特色は使用できません。

特色（スポットカラー）は使用できませんので、使用色はCMYKに変更してください。

●データは全てCMYKで作成してください。

RGB画像は使用できませんので、貼り込み画像はCMYKに変換して貼り込みしてください。また、イラストレーターのオブジェクトもRGBカラーは使用できません。

●PDFの注釈は使用しないでください。

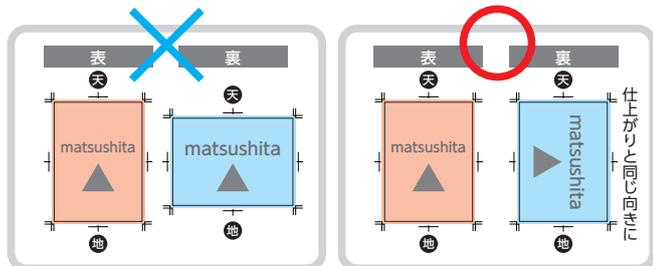
Acrobatの注釈機能で加えたコメントは印刷できません。また、Acrobat上で編集したPDFも印刷できません。

●セキュリティ設定はしないでください。

PDFにセキュリティ設定をせず入稿をしてください。また、セキュリティ設定をしたPDFは高解像度出力や面付けができません。

●PDFデータの天地方向を調整してください。

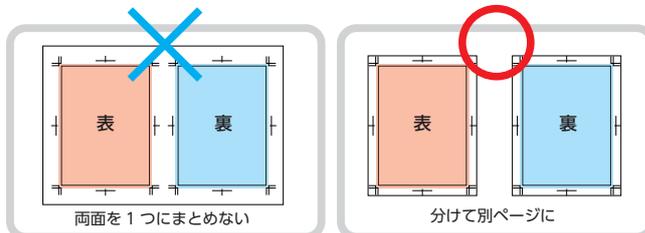
PDFの天地方向は仕上がり同様に向きを調整してください。縦レイアウトと横レイアウトの混在で入稿をしないでください。



●PDFのページについて

・チラシの場合

表面と裏面は分けてページにしてください。



・二つ折パンフレットの場合

見開きにした状態で作成をしてください。

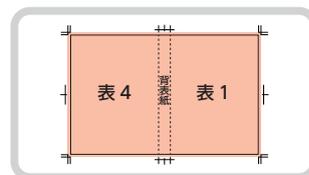


・ページもの場合

単ページで作成してください。

●無線綴じ・あじろ綴じ 冊子の表紙

無線綴じ・あじろ綴じ冊子の表紙は、背表紙を付け、本文と分けて見開きで作成をしてください。



PDFデータの確認方法

InDesignやAcrobat Proの**プリフライト機能**を使ってチェックを行ってください。書き出したPDFはAcrobatで開き、絵柄確認を行ってください。

●セルフチェック

- 仕上がりサイズは正しいですか？
- 版面位置は中央ですか？
- 塗り足しを付けて作成されていますか？
塗り足しの絵柄は足りていますか？
- 冊子はページ単位のサイズでPDFが作成されていますか？
- フォントはすべて埋め込まれていますか？
- 色数は合っていますか？
- PDF上にRGB、Lab、特色は含まれていませんか？

※ Acrobat Proの「印刷工程」>「出力プレビュー」にて色の使用状況を確認できます。

入稿前チェックがラクラク！



PDF入稿をされるお客様に無償提供中！！

作成したPDFをドラッグ&ドロップするだけで、印刷に適したPDFか判定できます。エラーや警告がある場合はレポートの書き出しができるので、不具合箇所への対応がラクラクです。

データの入稿は松下印刷 XMF へ

入稿データは松下印刷 XMF サーバーへアップロードをお願いします。データのアップロード、データの削除が簡単に行え、コメント機能（データアップロード時）も使用できるのでデータに関する連絡もスムーズです。

